

<白金標準、修正波動の 0.618 の戻りである 6061 円狙い・・・>



(出所：オアシス)

銅の関税内容の発表で一時 6293 円まで高値を試すも市場の思惑が外れ 5686 円まで下値を試している。ただ米国税関・国境警備局のスイスからの金輸入品に 39%の関税を課す見解や消費者物価指数、生産者物価指数など経済指標の動きにも配慮しながらロンドンのリースレートの高止まりを考慮して週末には 6011 円まで戻りを続けている。

しかし関税要因は銅や金への関税内容から見ても関税要因で買われる根拠は乏しくなり、更なる高値狙いの動きは抑えられる可能性は高まっていると思われる。特に関税要因で NY マーカントイル取引所のプラチナ在庫は 8 月 13 日以降は増加傾向が止まるなど、高値追いの要因も落ち着きを見せている。また週末行われたトランプ大統領とプーチン大統領の協議では、トランプ大統領は「非常に生産的であった」と述べるも協議の内容には言及する事はなく、リスク緩和の思惑からユーロが対ドルで買われていた動きも今週は抑えられる可能性が高いと思われる。そのため白金標準先物は 6293 円から 5686 円まで 607 円の修正を行った事から、様々な要因を織り込みながら一時的に修正の 0.618 の戻りである 6061 円まで黄金比の戻り高値を試す値動きに注意したいと思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げながら、**シグナル**は切り上げ。また RCI では**短期**が下げながら、**長期**は切り上げている。特に週足が **10 週移動平均線**で抑えられており、戻り売りの動きには注意した方が良いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,955,000 円(2025 年 8 月 18 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2025 年 8 月 18 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>